

パネルディスカッション I

メンタルヘルス不調による休職者への対応 ～職場復帰支援を考える～

【コーディネーター】

佐々木 よしえ

(東京障害者職業センター 次長)

【パネリスト(話題提供順)】

村久木 洋一

(障害者職業総合センター 研究員)

片山 雅裕

(大成建設株式会社 管理本部 人事部 健康管理センター(EAP 相談室) 専任次長)

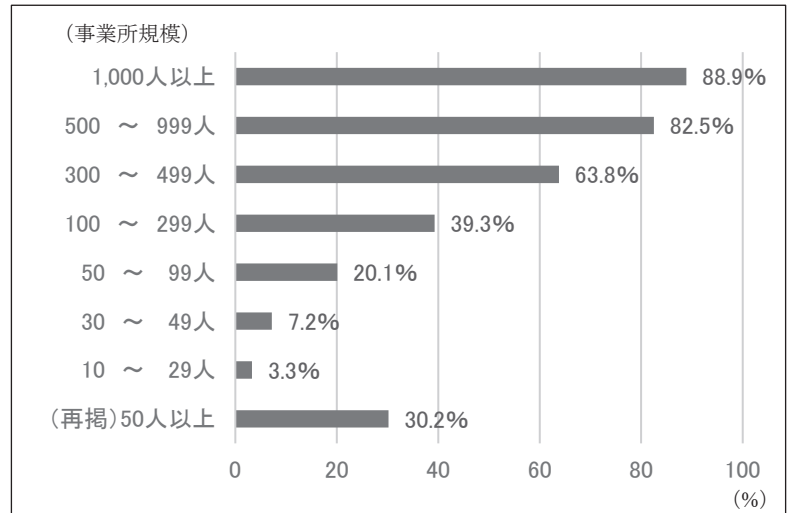
長田 史江

(東京ガス株式会社 デジタルイノベーション戦略部 デジタルイノベーション総務グループ)

メンタルヘルス不調による休職者への対応 ～職場復帰支援を考える～

近年、労働者のうち仕事や職業生活に関することで強い不安、ストレスを感じる方の割合は、50%以上で推移しています。また、メンタルヘルス不調により休業した労働者がいる事業所の割合は、50人以上の事業所規模において約30%に上り（図）、多くの企業がさまざまな課題に直面しながらメンタルヘルス不調による休職者の対応をしています。

図 過去1年間にメンタルヘルス不調により連続1か月以上休業した労働者がいた事業所割合



出典：厚生労働省「令和2年労働安全衛生調査」

そこで、本パネルディスカッションでは、当機構の調査研究結果から企業における休職者に対する措置や課題などを紹介するとともに、不調に悩む社員への対応をされている2つの企業のご担当者から取組事例を報告いただいたうえで、職場復帰に至るまでの対策、復帰後の対策、再休職を防ぐ取組・工夫などについて検討します。

コーディネーター

佐々木 よしえ

東京障害者職業センター 次長

パネリスト	村久木 洋一
	障害者職業総合センター 研究員 (千葉県千葉市)

当機構が行った「職場復帰支援の実態等に関する調査研究」の研究結果から、企業における休職者に対する措置等の概況や、医療機関の復職支援プログラム、地域障害者職業センターの職場復帰支援、コンサルタント会社等の従業員支援プログラム（EAP）といった事業場外資源の利用にあたって企業側・復職者側が期待した効果等を紹介します。

パネリスト	片山 雅裕 氏
	大成建設株式会社 管理本部 人事部 健康管理センター（EAP 相談室） 専任次長 (東京都新宿区)

職場のメンタルヘルス対策のために専任のスタッフを配置した相談室を設け、職場復帰支援に関する諸制度等を充実させて社員の不調に対応されている取組の内容や工夫について紹介します。

パネリスト	長田 史江 氏
	東京ガス株式会社 デジタルイノベーション戦略部 デジタルイノベーション総務グループ (東京都港区)

職場復帰に向けたサポートとして地域障害者職業センターのリワーク支援を活用し、企業と支援機関が一体となってメンタルヘルス対策に取り組んでいる現在の状況や、日頃の対応で心掛けている点において実務担当者目線で心構え等について紹介します。